

各務原市スポーツ少年団野球部会主催大会  
における大会規則、および、確認事項  
【平成24年度版】

平成24年4月

平成24年4月8日改訂

各務原市スポーツ少年団野球部会

野球部会2012

## I. 各務原市スポーツ少年団野球部会(以下 野球部会という)主催大会の大会規則

### 1. 大会規則

野球部会主催大会は、2012公認野球規則を準用する。

### 2. 6年生、5年生大会(トーナメント戦)実施要綱

#### (1)大会名

6年生大会 さくらまつり大会、秋季大会

5年生大会 スポーツ少年団交流野球大会、部会長旗大会、秋季大会

#### (2)大会規則

- － 試合は7回戦、または、試合時間 1時間30分とし、1時間30分経過以降は、次の回に入らない。
- － 後攻の攻撃中に1時間30分経過により試合終了が見込まれる場合は、球審の判断で試合終了する。
- － 5回以降、得点(7点差)、および、日没降雨等によるコールドゲームの適用あり。但し、決勝戦はコールドゲームの適用はしない。
- － 試合終了時、同点の場合の取り扱いは、次の(a)(b)の順による。
  - (a) 試合時間に関係なく「特別延長ルール」(後述)を適用する。延長戦終了時、同点の場合も同様とする。但し、2イニングを限度とする。
  - (b) 「特別延長ルール」を適用し、なお同点の場合は、「抽選ルール」(後述)にて勝敗を決する。
- － 投本間は16m、塁間は23mとする。

### 3. 5年生 さつき大会(リーグ戦)実施要綱

#### (1)大会名

さつき大会(リーグ戦)

#### (2)大会規則

##### ①リーグ戦

- － 試合は7回戦、または、試合時間 1時間30分とし、1時間30分経過以降は、次の回に入らない。
- － 投本間は16m、塁間は23mとする。
- － 後攻の攻撃中に1時間30分経過により試合終了が見込まれる場合は、球審の判断で試合を終了する。
- － 5回以降、得点(7点差)、および、日没降雨等によるコールドゲームの適用あり。
- － リーグは、A、B、C、Dの4リーグとする。
- － 試合終了時、同点の場合は、引き分けとする。
- － 決勝トーナメント出場チームは、A、B、C、Dブロックより1チームとする。
- － 勝ち1点、引き分けは0.4点、負けは0点を与え、点数の多いチームが決勝トーナメントに進出する。
- － リーグ戦終了時、同得点の場合は、決定戦を行う。決定戦でも決しない場合は抽選にて、決勝トーナメント出場チームを決定する。

##### ②決勝トーナメント

- － 6年生、5年生大会(トーナメント戦)の大会規則を適用する。

# 野球部<sup>1</sup>会2012

#### 4. 4年生大会実施要綱

##### (1)大会名

新人戦、夏季交流野球大会、秋季大会

##### (2)大会規則

- － 試合は5回戦、または、試合時間 1 時間10分とし、1時間10分経過以降は、次の回に入らない。
- － 後攻の攻撃中に1時間10分経過により試合終了が見込まれる場合は、球審の判断で試合終了する。
- － 得点差によるコールドゲームは適用しない。但し、4回終了以降の日没降雨等によるコールドゲームの適用あり。試合終了時、同点の場合は、「抽選ルール」にて勝敗を決する。
- － 延長戦は行わない。また、「特別延長ルール」は適用しない。
- － 新人戦、夏季交流大会における、投本間は14m、塁間は21mとする。  
秋季大会における、投本間は15m、塁間は22mとする。
- － 「フル打順制」(後述)の採用は認める。但し、先攻後攻決めの際に、球審、対戦相手に申し出、承認を得ること。

#### 5. 共通事項

##### (ベンチに入れる大人)

- － ユニフォームを着用した監督「30」、指導者「29」、指導者「28」の3名以内、他に団会長、マネージャー、スコアラーの6名とする。また、指導者講習会を受講済であること。

団会長は会長帽子を着用のこと。また、マネージャー、スコアラーは、チームと同様の帽子を着用すること。

##### (選手登録)

- － 大会申込書は、抽選日までに提出すること。2チーム参加する場合は、選手が重複しないものとする。また、ベンチ入りする監督、指導者も重複しないものとする。

##### (グラウンドへの立ち入り、アピール権者)

- － 監督、指導者は試合中原則として、グラウンド内に入ってはならない。但し、監督に限っては選手交代の通告、アピールを行うとき、選手との打合せ時は除外する。
- － タイム中、監督がグラウンド内に入ることができるのは、1イニング2回までとする。2回目以降は選手交代時とする。また、選手がタイムをとってマウンドに集まるのは、1試合3回までとする。
- － 野球規則によるアピール権者は、監督、キャプテンとする。

##### (ベンチ)

- － トーナメント戦の場合は、抽選番号若番のチームを一塁側ベンチとする。  
リーグ戦の場合は、組合せ表の試合番号の、奇数試合では若番が一塁側ベンチ、偶数試合では若番が三塁側ベンチとする。

##### (集合時間)

- － 各チームは、遅くとも試合開始予定時刻の30分前までに集合し、試合開始予定時刻の前でも試合ができる

# 野球部<sup>2</sup>会2012

ように準備すること。

(メンバー票)

- － 次の試合を行うチームの主将、監督は、試合開始予定時刻の30分前に審判員にメンバー票3部(球審、本部、対戦相手)を提出する。但し、放送設備のある試合会場では、4部(球審、本部、放送室、対戦相手)提出する。その際に、先攻後攻を決定する。

(試合参加の服装、防具)

- － 登録したチームの選手、監督「30」、指導者「29」、指導者「28」は、全員が同色・同形、および、同意匠のユニフォームを着用する。また、靴は同一色のものでなければならない。
- － キャッチャーは、必ず公認マスク、ヘルメット、プロテクター、レガースを着用すること。攻守交代時の代理キャッチャーも、必ず公認マスク、ヘルメットを着用すること。
- － 靴は少年用ゴム製スパイク、または、運動靴を使用すること。
- － 打者、次打者、走者、ランナーコーチは、必ず「両耳覆いの付いたヘルメット」を着用すること。
- － ヘルメットは、全日本軟式野球連盟公認の製品安全法に適合したもの(SG マークつき)とすること。
- － 金属バットは公認(JSBB)マーク入りを使用する。表面に凸凹のあるもの、握りの部分にゴムがないもの、あるいは、緩んだものの使用は認めない。
- － 素振りリング、鉄棒等の使用はもちろん、試合会場への持ち込みも禁止する。

(試合球)

- － 大会使用球は、「マルエス C号」とし、各チームから試合ごとに新品を2個ずつ抛出する。

(試合時間等)

- － 試合前のノックは当日の第一試合のみ、試合開始前に、後攻チームを先に、先攻後攻チーム各5分間実施する。第二試合以降のノックは行わない。
- － 試合時間の開始は、選手のあいさつ終了時から起算する。

(投球練習。守備練習等)

- － 投手の投球練習は、初回は7球とし、2回以降は3球とする。継投時も同様とする。但し、守備中の選手が交代する場合は、初回5球とする。
- － ブルペンでの投球練習において、監督、指導者がボールを受けることは禁止する。また、試合中は当該チーム以外のチームのブルペンでの投球練習は禁止する。
- － 守備位置を交替した場合の守備練習は、交代選手のみ認める。
- － 守備中のボール廻しは時間短縮のため禁止する。

(その他)

- － 野球部会会長会の「確認事項」を適用する。定めのない事項については、野球部会役員、野球部会会長会の協議により決定する。
- － 軟式野球連盟主催大会(全日本学童大会 市予選、岐阜県学童・岐阜ブロック大会 市予選、市民体育大会、白川病院旗野球大会等)、および、市外大会は、本大会規則によらない。

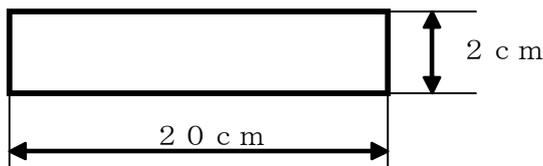
## 6. 特別延長ルール

次の方法により、2イニングを限度に、特別延長ルールを適用し実施する。なお同点の場合は「抽選ルール」にて勝敗を決する。但し、決勝戦については「抽選ルール」を適用せず、勝敗が決するまで「特別延長ルール」を適用する。

- ① 先攻チームから無死・走者満塁で開始する。
- ② 打者は、「最終回終了時の次の打者」とする。
- ③ 走者は、最終回終了時、次の打者となるべき者の前の打者を一塁に、以下順次、その前の打者が2・3塁の走者となる。
- ④ より多く得点したチームを勝ちとする。特別延長ルールを適用した後、得点差が生じた回をもってゲームは終了する。

## 7. 抽選ルール

- ① 「抽選カード」は、20cm×2cmのカード(下図参照)に、○印をつけたものを9枚、白紙のものを9枚、計18枚作成し、透けて見えない封筒に各1枚ずつ入れて、用意しておくこと。



○印を付けたもの	9枚
白紙のもの	9枚
合計	18枚

- ② 両チームより、「抽選カード」を提出し、球審が使用する「抽選カード」を選択する。  
(「抽選カード」がないチームは、スコア「9:0」で負けになるので、注意すること。)
- ③ 抽選は、最終イニング出場の最後の守備選手(各チーム9名)で行う。
- ④ 球審は両チームの選手および監督をホームプレート前に集合させる。
- ⑤ 引く順番は先攻の守位1番(投手)から抽選カードのはいった封筒を引いていく。  
以降 後攻の守位1番、先攻の守位2番(捕手)、後攻の守位2番、  
先攻の守位3番(一塁手)、後攻の守位3番、  
.....  
先攻の守位9番(右翼手)、後攻の守位9番 という順序で引く。
- ⑥ 全員が引き終わるまで、封筒は開けないこと。
- ⑦ 全員が引き終わったら、一塁塁審は一塁側のチームの封筒を、三塁塁審は三塁側の封筒を回収し、開票する。
- ⑧ 監督はそれぞれ相手チームの開票に立ち会う。
- ⑨ ○印の多いチームを勝ちとする。

## 8. フル打順制

- ① 打順 1 番から9番までは、正規の規則の通り、打順と守備位置を決める。
- ② 10番以降の選手の守備位置は「控え」となるが、9番に続いて打席に入ることができる。
- ③ 10番以降の選手「控え」が、交替して守備についた場合は、交替した選手が「控え」となり、同じ試合中に再び守備につくことはできない。
- ④ メンバー票には、1番から9番までの打順および守備位置を記入し、10番以降の選手は、打順のみ記入すること。

## II. 平成22年度 各務原市スポーツ少年団野球部会 会長会 確認事項

- (1) 野球部会は、「大会規則」「確認事項」に基づき大会運営を行う。また、学童の体力、健康を勘案し、試合時間を制限して運営を図ることとする。
- (2) 団の代表者、監督、指導者は、「大会規則」、「大会要項」、「確認事項」を把握したうえで、野球部会の運営に協力すること。
- (3) ベンチ内の監督指導者は以下の事項を禁止し、遵守しない場合、審判は退場を命ずることがある。  
「喫煙」、「携帯電話の使用」、「サングラスの着用(帽子上に掛けることを含む)」、「首タオル」、「草履」、「半ズボンの着用」
- (4) チーム、および、応援団は、スポーツマンシップに反する「ヤジ・発言」を慎むこと。遵守しない場合、審判は退場を命ずることがある  
例) - 自チームを含む選手に対する教育上不適切な「ヤジ・発言」  
- 選手のプレーを惑わすような「ヤジ・発言」  
- 審判の裁定に対する「ヤジ・発言」。  
審判の判定に対し、疑義がある場合は、必ず「タイム」を要望し、監督、キャプテンがアピールを行うこと。
- (5) 監督、コーチ、選手等はグラウンドへの入退場の時は、必ずグラウンドに対して一礼すること。
- (6) 試合開始、試合終了のあいさつ時は、ベンチ内の監督、指導者等も全員起立して、あいさつを行うこと。
- (7) 監督がグラウンドに立ち入る時は、必ず球審が「タイム」を宣告した後で立ち入ること。
- (8) 試合中はむやみにベンチから出ないこと。ベンチを出ての喫煙は禁止する。
- (9) ベンチ内で使用できるメガホンは、各チーム1個とすること。
- (10) 試合中は、ベンチ内での監督・指導者のジャンパー着用は不可とする。但し、球審が認めた場合は可とする。
- (11) 試合終了後、対戦相手ベンチ前でのあいさつは、時間短縮のため行わない。
- (12) 一試合ごとのグラウンド整備については、勝ちチームの選手が実施すること。但し、最終試合は、両チームで行うこと。
- (13) 試合終了後、速やかに次の試合のチームに明け渡すこと。
- (14) 市民球場の放送室へ入室できる人数は、アナウンスについては2名(原則女性)、スコアボード係1名(原則男性)の各チーム3名までとする。
- (15) 市民球場のスタンドでの、スパイク着用を禁止する。

- (16) 試合中および試合会場への往復路における傷害に遭遇した際の経済的負担を軽減するため、団員ならびに指導者、母集団は、「スポーツ安全保険」への加入に努めること。
- (17) 試合会場および周辺(観客席、駐車場等)において、ごみ、ペットボトル、タバコの吸殻等の放置を厳に慎み、ごみ類はすべて持ち帰るよう、団員、指導者、母集団が自覚を持って協力すること。

### Ⅲ. その他の規定

以下のルール等を遵守すること。

- (1) 全日本軟式野球連盟、および、岐阜県軟式野球連盟の通達
  - 「学童・少年部の投球制限について」(全日本軟式野球連盟、平成23年1月26日付)
  - 「少年・学童野球の投球制限について」(岐阜県軟式野球連盟、平成23年3月26日付)
  - 「県下学童登録野球チームの指導方針について(確認)」(岐阜県軟式野球連盟)
- (2) 勤青東グランド駐車場ルール
- (3) 市民球場 スコアボード 操作手順書
- (4) 市民球場放送マニュアル